朝日寺だより

発行者　若松隆英
総代会
印刷者　奥山印刷

新年を迎えて

住職　**若松隆英**

壇信徒の皆様、あけましておめでとうございます。よいお年をお迎えのことと存じます。

昨年も朝日寺では様々なことがありました。四月十九日には八年ぶりに朝日寺を会場としての土砂加持法会が行なわれました。詳しくは後々の記事に譲りますが、一昨年下旬より具体的な準備に入り、総代会運営委員を中心に多くの方の協力を得て、晴天の下、大人数を集めて盛大に行なうことができました。重ね重ね感謝申し上げます。

その土砂加持法会に合わせて行なった事業と致しまして、崩れる心配のあった本堂裏山の最頂部を削り取り、その残土で本堂西側の新境内地（取得した畑地＝後述）の整地を致しました。新境内地は当日、うどんのお接待や屋台の出店に使用し、賑やかなふれあいの場となりました。今後も行事の際などに使用する予定です。なお、削られた裏山の頂部には、藤棚を設置致しました。ツツジと合わせて美しい景観を作ってくれるものと期待しております。

また、土砂加持法会では一昨年に造成された新駐車場も大活躍致しました。新駐車場を利用して大型バス三台とジャンボタクシーを運行させることにより、駐車の混雑を最小限に抑え、かつ多くの参拝者に来て頂くことができました。土砂加持法会の成功と合わせて、その他の年中行事も滞りなく終えることが出来ました。ありがとうございました。

また昨年は檀家の皆様への五か年計画寄付金のご依頼の三年目でした（詳しくは三ページ下部を参照）。昨年は土砂加持法会開催資金の赤字分と、高野山開創千二百年事業負担金の志納に充当させて頂きました。ご協力誠にありがとうございます。あと二年続きますが、四年先に迫った三十三年に一度の本尊開帳が盛大に行なえますように、引き続きご協力お願い申し上げます。

さて、私は昭和五十四年に先代の事故により寺に帰って以来、早いもので三十年が経過しました。この三十年の間に、本堂、客殿の修繕、庫裏の新築、寺宝の修繕、駐車場の新設等、大きなことは一通り終えることができたと思っております。

住職として皆様のご協力に只々感謝するばかりですが、一段落したところで次は、本腰を入れてこれからの時代を考える時であると思います。これからの時代にお寺に何が求められるのか、そして朝日寺はどのようにあるべきか…。その一環として、総代会では昨年二度、兵庫県のお寺へ視察に足を運び、各住職さんのお話をじっくり聞きました。少子高齢化を含め、世の中がどんどん変化していく中で、都市部の寺も過疎地の寺もそれぞれの課題を抱えています。後者に当たる朝日寺は三十年前と比べると、玉津・裳掛地区は人口が減っている一方、尾張地区や岡山・倉敷方面の檀家数は段々増えてきました。各檀家様のお話に耳を傾けていましても、（お墓の継承・先祖の祭り方等々）仏事に関する事情や抱く不安はまさに各家様々なものがあると思います。そんな中で何が求められるのかを、今まで以上にいち早く汲み取って皆様の、そして世の中の希望を適えられるお寺づくりを進めて参りたいと思います。

さあ、三十三年に一度の開帳まであと四年となりました。それに向けて五月八日には薬師如来祈願法会（花まつり）を三年前より行なっておりますが、今年・来年の五月八日は土日に当たっております。皆様ぜひご家族連れでお参り下さい。他にも節分会・投げ銭供養・バスツアー等、今年も行事を予定していますが、皆様のご協力と大勢のお参りをよろしくお願いします。

筆末ではございますが、二〇一〇年の皆様のご多幸とご健康をお祈りして新年のご挨拶とさせて頂きます。本年もよろしくお願い申し上げます。

南無大師遍照金剛　合掌

4月19日、門前の参道は稚児行列で埋めつくされた

年頭に当って

総代長　**清水佐伯男**（きみお）

檀信徒の皆様、新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中はお寺の行事等いろんな面にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

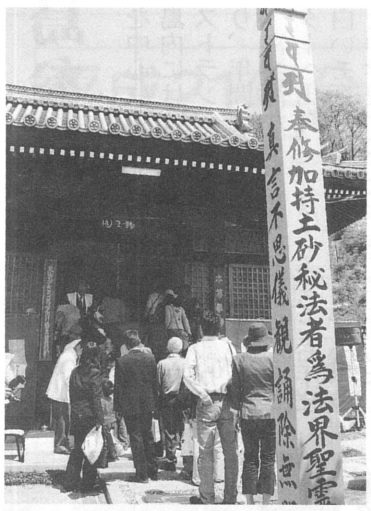
まず、二月三日の節分法会には多くの方々のご参拝を頂き有難う御座いました。

そして何と申しましても昨年の最大の行事は四月十九日の土砂加持法会（七～八年に一回行なわれる行事）でございます。心配いたしておりました天候にも恵まれ盛大に行うことができました。

瀬戸内市内十五ヶ寺のご住職をはじめ百三十名近くの稚児たちの参加をいただき、それに多くの檀家の方々、また檀家以外の方々も多く参加して下さり総勢約六百名位のご参加で盛大に開催されました。稚児集合場所ではワッカファームの皆さんの音楽や太鼓の演奏がありムードを盛り上げてくれました。住職方の読経に始まり御詠歌、そしてほら貝の合図で行列は出発いたしました。百三十名近くの稚児の行列は勇壮で見事なものです。行列の間には花御堂でお釈迦様に甘茶を掛けたり、おすなふみ、記念撮影、本堂礼拝、おせったい等があり無事本堂まで稚児行列を行うことができました。新しく出来た本堂西側の駐車場ではうどん、こんにゃくのせったい、またタコ焼き屋さんも来て下さり皆さんが楽しい一日を過ごして頂けたこと大変感謝致しております。総代さん、婦人部の方々をはじめ多くの人のご協力を頂き土砂加持法会が盛大に行うことが出来ました。有難うございました。

七月二十日の「読み上げ法要」（瀬戸内重要無形文化財）にも多くの方がご参拝下さいました。立岡元市長の講話を頂き、その後読み上げ法要〈投げ銭供養〉が行われ故人のご冥福をお祈り致しました。

そして、例年通り7月下旬より「棚経」、八月十五日の「水祭り」が行われました。水祭りには多数の方々の参拝を頂き盛大に行うことが出来ました。



それから、総代運営委員は六月二十八日兵庫県宍粟市の安養寺に、また総代会で竜野市の小宅寺に視察に行きました。内容はお寺の整備状況、檀家とお寺のつながり、そして納骨堂の設置状況等の勉強です。二つのお寺とも檀家とお寺が仲良く意思の疎通が出来、お寺がよく整備されていました。朝日寺もこれを参考にして少しずつでも整備してゆきたいと思います。私たちの周囲を見渡しても少子高齢化がどんどん進んでいます。従って先祖の祭り方も変わりつつあります。墓地の必要な方、永代供養を希望される方等いろいろあると思います。皆様方のご意見、ご希望等をお寺、または総代にお寄せください。

十一月十日の直島への寺めぐりにも多数の参加を頂き有難う御座いました。総代長の私〈清水〉はJAで会議があり参加できませんでした。大変残念に思っております。

それから、本堂西側の土地を取得致しました。寺の敷地との段差があり裏山を削って埋め立ていたしましたが最も西側のビニールハウスの有ったところの埋め立てが残っており、この度庄田地区の下水道工事に伴い残土で埋め立てが出来ました。まだ排水路等の工事が残っていますが一応埋め立ては終わりました。檀家の皆様もお寺にお立ち寄り下さり見ていただきたいと思います。

昨年一年間檀信徒の方々のご協力ありがとうございました。本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。皆様方にとって本年が最良の年で有ります様お祈りいたします。